

ゼロカーボンミーティング in 南信州

ミーティング
参加後は会場内で、
既に取組を進めている
環境メッセ出展者の話を
聞いてみましょう！

最新の知識や先進的な取組について学び、行動する
県民の輪と、つながり、実践を一層広げ深めていくことを目指します。

定員100名

参加無料

手話通訳付き

日時 令和7年11月1日(土) 10:10～12:30

会場 エス・バード A棟2階 ホール

南信州環境メッセ2025
同時開催中！

場所：同会場（エス・バード）

日時：令和7年11月1日(土)・2日(日) 10:00～16:00

基調講演 10:10～11:10

演 題：南信州におけるエネルギーの
地産地消に向けたグリーン水素の可能性

講 師：宮原 大地 准教授（みやはら だいち）

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 リサーチアドミニストレーション室

【略歴】1988年長野県生まれ。長野県上伊那農業高校、信州大学農学部卒業。生き物好きが高じてニワトリ研究者となったが、大学の知と社会の「繋ぎ手」の必要性を実感し、研究マネジメント職の道へ。現在は南信州におけるグリーン水素の実験プロジェクトを担当。



パネルディスカッション 11:20～12:30

テーマ：「ゼロカーボンの未来へ。南信州から考えるこれからのエネルギーのかたち」

コーディネーター：宮原 大地 氏(基調講演講師)

パネラー：



くまがい ひろし
熊谷 弘氏
株式会社リックス
代表取締役

【略歴】

創業52年・設立22年を迎えた株式会社リックスの代表。「2050年カーボンニュートラルな持続可能な南信州の実現」に向けて、ビジネスは勿論、教育分野やまちづくり活動にも積極的に参画している

【発表概略】

再生可能エネルギーで南信州を元気にしたい！強い想いから2012年から企画を開始して展開してきた「結プロジェクト」では公共施設編では10市町村50施設に太陽光設備の設置が実現し、「子どもたちの教育の充実」「防災機能の向上」「文化振興による地域の活性化」に寄与している。更に再生可能エネルギーの導入に関して、「住宅用PV」「産業用自家消費型PV」「営農型太陽光発電(ソーラーシェアリング)」「蓄電池システム」「V2H(EV車専用充放電機器)」など販売・施工・保守を手掛ける。SDGsや環境教育などウェルビーイング含めた教育プログラムを今後構築をしていきたい。



しもい よしこ
下井 善彦氏
飯田市ゼロカーボンシティ
担当参事

【略歴】

自転車通勤する飯田市職員
天竜峡エコバレープロジェクトや体験教育旅行、人形劇のまちづくりに携わる。
現在、環境文化都市づくりプラットフォーム「うごくる。」の活動など、脱炭素化に向けた事業を推進している。

【発表概略】

飯田市は、目指す都市像として「環境文化都市」を掲げてから四半世紀が過ぎたが、環境やゼロカーボンへの取組の重要度は増している。市民の普段の取組が環境文化都市につながっていくことを示し、人口減少の社会にあって、地域の生き残りをかけて、環境への取組を進めていきたい。エネルギーの域産域消や人と共にある自然環境が豊かになることを目指したい。



みうら ひろこ
三浦 宏子氏
南信州飯田
おもしろ科学工房代表

【略歴】

2001年、飯田市教育委員会の呼びかけで設立。子どもたちが自らの手で実験し、科学のふしぎや驚きを体験することで、「どうしてだろう?」という気持ちを育て、科学への興味、関心を高める活動をしています。

【発表概略】

飯田市では信州大学と連携し、グリーン水素を活用したエネルギーの域産域消モデル構築に取り組んでいます。私は、燃やしても二酸化炭素を出さず水になる水素の特性を学ぶ理科実験を通して、子どもたちが地球にやさしいエネルギーについて理解を深められるよう活動しています。こうした学びを通じて、子どもたちがエネルギーの大切さや環境への意識を高め、日常生活の中で環境に配慮した行動へとつなげていくことを目指しています。

主 催 者：南信州地域振興局

お問合せ先：南信州地域振興局環境課 TEL0265-53-0434

E-mail : minamichi-kankyo@pref.nagano.lg.jp